

# 『時事直言』 No.1545 2022年4月27日

[HP] <http://chokugen.com/>

[FAX] 03-3956-1313

[mail] [info@chokugen.com](mailto:info@chokugen.com)

[twitter 日本語] [t\\_masuda2019/](https://twitter.com/t_masuda2019)

[twitter 英語] [T\\_Masuda\\_eng/](https://twitter.com/T_Masuda_eng/)

[instagram] [t\\_masuda2019/](https://www.instagram.com/t_masuda2019/)

[Youtube] 増田俊男チャンネル/



時事評論家 増田俊男

## 鶏口(マネーの創造者)と為るも牛後(マネーの奴隷)と為る無かれ

会社は資本金、家計は収入で成り立っている。

「初めに光ありき」(存在)、「初めに資本ありき」(運営)である。

国家も国民も初めに「カネありき」である。

そのカネ(通貨)の発行権は中央銀行に属する。

日銀、中国人民銀行、ロシア国立銀行、その他非民主国家を除くすべての中央銀行の株主(オーナー)は独占資本である。

民主主義(制度)の大原則は Conflict of interests(利害相反する関係の完全分離)である。

権利と義務、債権者と債務者、敵と味方、、、右翼と左翼等々利害が相対立する者を分離し、一切関係してはならない原則である。

中央銀行は通貨を発行し、発行された通貨を国家が国民の為に使う。

中央銀行は国家に対して債権者であり国家は中央銀行に対して債務者である。

したがって債権者である FRB(米連邦準備銀行)の株式を債務者である合衆国は 1 株も持っていない。

日本は戦後民主主義の優等生と言われるが、国家は中央銀行(日銀)の総発行株式の 55%を保有しているのだから、明らかに Conflict of interests に違反している。

政治も経済も「Money talks」(カネがモノを言う)だから、政治・経済の先を見通したかったらカネを使う側ではなくカネを創造する側に立たなくてはならない。

かつて王様と奴隷の時代があったが、国家の首相や大統領、または財界のトップになることは奴隷の指導者になることと同じである。

戦争は一握りの者を利し、大多数の者を不幸にする。

カネを創造する独占資本でさえ従わざるを得ない「資本の意志」に成り代わって、ややこしくなってきた世の中を一刀両断してみようと思う。

次回の「小冊子」Vol.127 をご期待下さい。

### 増田俊男の「ここ一番！」大好評配信中！

投資にビジネスに一番役に立つ「ここ一番」。

「明日では遅過ぎるナウな情報」をその場で必ずお送りします。

現在、増田俊男の「ここ一番！」を FAX 又は e-mail にて配信しております。

詳しいご案内、お申込みについてはマスタ U.S.リサーチジャパン(株)Tel : 03-3956-8888、

HP : [www.chokugen.com](http://www.chokugen.com) まで。

「時事直言」の文章及び文中記事の引用をご希望の方は、  
事前にマスタ U.S.リサーチジャパン株式会社 (FAX : 03-3956-1313) までお知らせ下さい。